

## 第1章 はじめに

### 1. 研究の背景

近年、音楽コンサートやお祭りなどの野外イベントが各地で数多く開催されているが、そのようなイベントを実施する際、飲食物の販売などに用いられる使い捨て食器がイベント会場から排出されるごみの大部分を占めており大きな問題となっている。そこで最近では、使い捨て食器を使わずに、使用後に洗浄する事で再使用できるリユース食器を使うことで、イベント内で排出される廃棄物を減らし環境負荷を低減する方法が主流となりつつある。

リユース食器システムを導入する上で、リユース食器の洗浄を効率よく行うため食器洗浄車を利用する場合があるが、食器洗浄車の利用の有無やその他の条件により、CO<sub>2</sub>の排出量にどの程度の差があるのか、またシステムの導入に関して係る費用にどれくらいの差があるのかなどは明らかにされていないのが現状である。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、様々な条件下で実施されるイベントに対して、リユース食器システムをどのような条件で導入すれば、環境負荷低減効果や費用のバランスから考えてもっとも適しているのかを明らかにする事である。

### 3. 研究の意義

本研究は、イベント主催者にとってリユース食器システムをどのような条件で導入すれば、費用及び効果の面で効率のよい環境活動になるのかを考える指標になる。また、リユース食器の貸し出しを行う団体やリユース食器システムを推進する団体にとって、今後の活動を行う上での参考資料となりうる。

### 4. 研究の方法

本研究の研究方法を、以下に示す。

リユース食器システムの現状を調査する。

リユース食器システムの類型化項目を設定する。

リユース食器システムのCO<sub>2</sub>削減効果を様々な条件のもとで比較する。

において各システムを項目別に類型化し、リユース食器についてCO<sub>2</sub>を原単位としてLCA評価を行い、それぞれを比較・分析する。

リユース食器システム導入に係る費用を様々な条件のもとで比較する。

において類型化した各システムにおける、システムの導入に係る費用を算出し、それぞれを比較する。

の結果を相互比較し、導入するイベントの各種条件から、どのようなシステムを導

入ることがもっとも適しているのかを示す。

#### 5. 本研究での用語の定義

- ・リユース食器：使い捨て食器の代わりに用いられる，繰り返し再利用可能な食器．素材にはプラスチック素材（主にポリプロピレン）やメラミン素材が一般的に利用される．
- ・リユース食器システム：野外イベントなどでの飲食物の販売の際に，使い捨て食器ではなくリユース食器を使用し，使用後に洗浄して繰り返し使いまわすシステム．詳しくは次章にて述べる．
- ・食器洗浄車：リユース食器を洗浄するために，食器洗浄機を搭載したトラック．詳しくは次章で述べる．